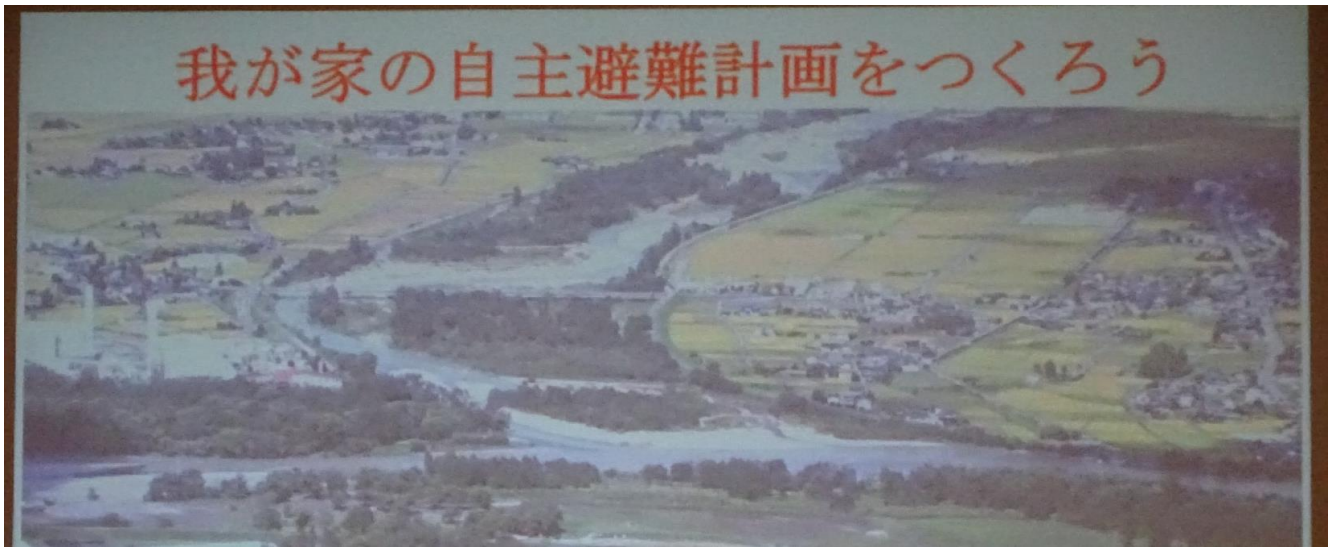
第91回目　明科いいまちサロン　明科地域の水害について
『我が家の自主避難計画をつくろうかい』

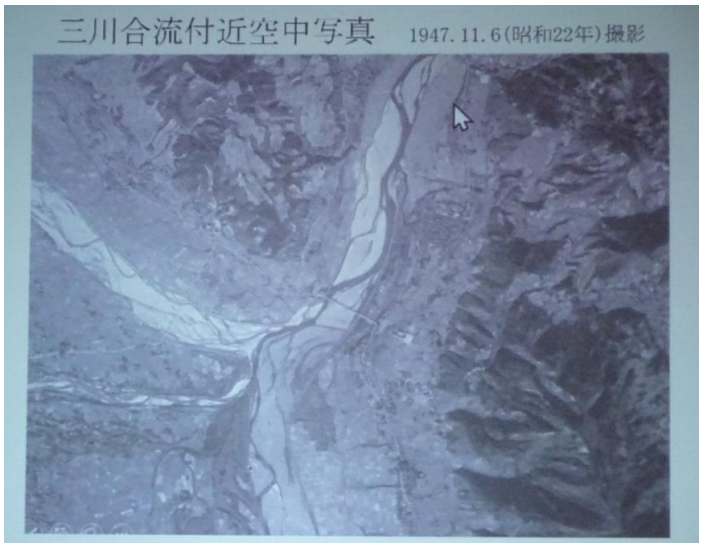
令和3年10月26日(火)　10:00～11:30
於：明科公民館講堂



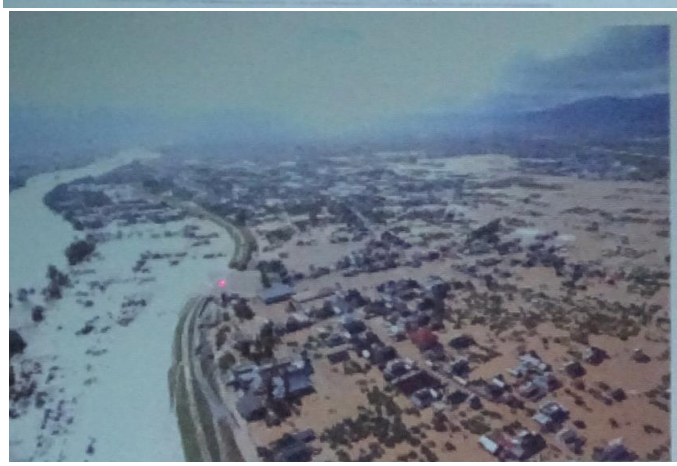
10月度の明科いいまちサロンは、最近、身近なところで発生している豪雨災害等自然災害の恐ろしさ、又、自主避難について、防災士で上押野区長　土肥三夫氏を講師に迎え、勉強会を開催した。参加者は20名程でした。映像を見ながら明科地域過去から最近の水害被害の状況を説明して頂き改めて自然災害の恐ろしさを知ることが出来た。又、市発行の防災マップを基に参加者自宅からの避難所までの距離、道順を確認した。避難所等で、活用できるスリッパを新聞紙作るやり方の指導受けた。

浅見代表あいさつ

講師　土肥三夫氏



最近の災害時状況について映像による説明



線状降水帯とは

線状降水帯発生 気象庁が発表

きょうから「一刻も早く避難決断を」

「顕著な大雨に関する情報」の発表基準

1. 3時間雨量100㎜以上の面積が500キロ㎡以上
2. 雨域が線状
3. 最大3時間雨量が150㎜以上
4. 災害の危険度を地図に示す「危険度分布」で一定基準を超過

気象庁では、

「次々と発生する、発達した雨雲（積乱雲）が列をなして、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することでつくりだされる、線状に延びる長さ50～300km程度、幅20～50 km程度の強い降水をともなう雨域」と説明している。

○３時間雨量が100mm以上の面積が500km²以上

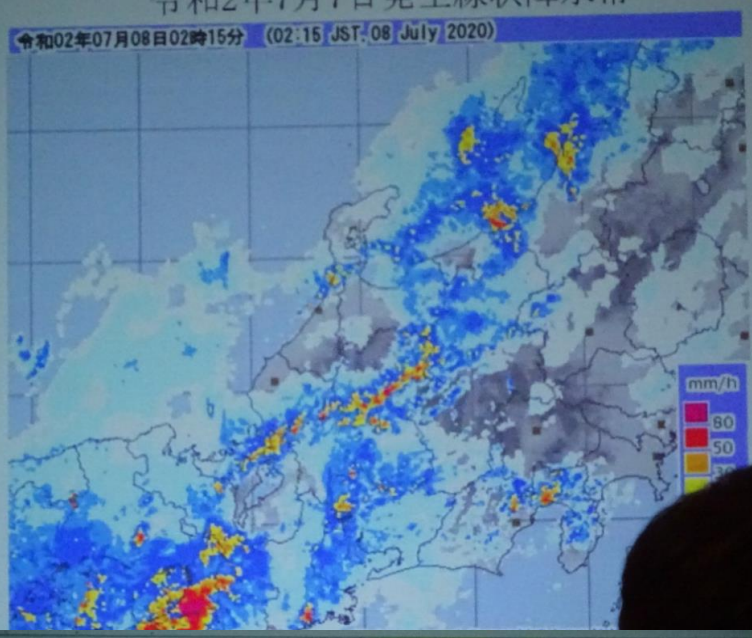
○雨域が線状

○最大3時間雨量が

○「危険度分布」

を超過

令和2年7月7日発生線状降水帯

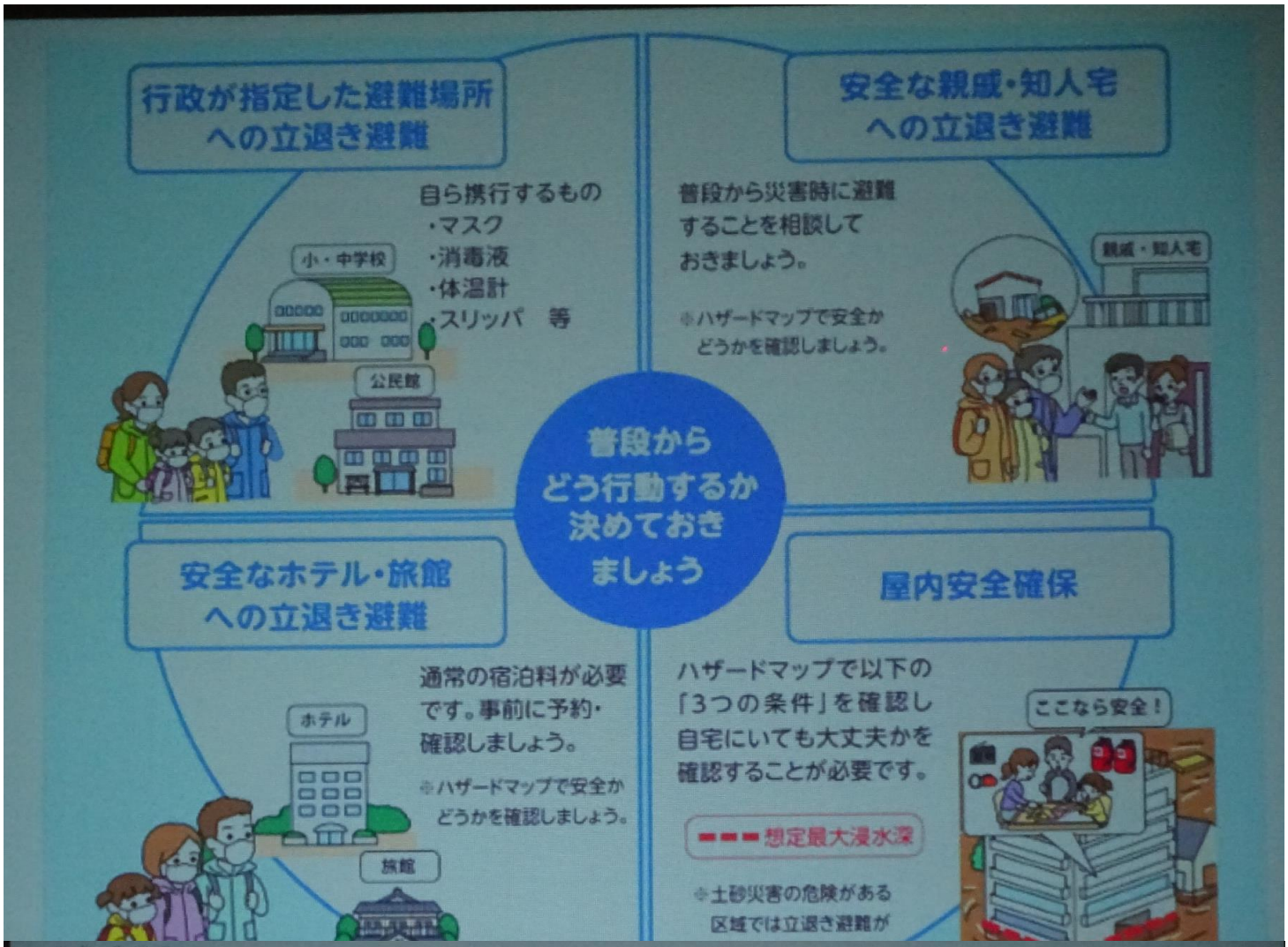


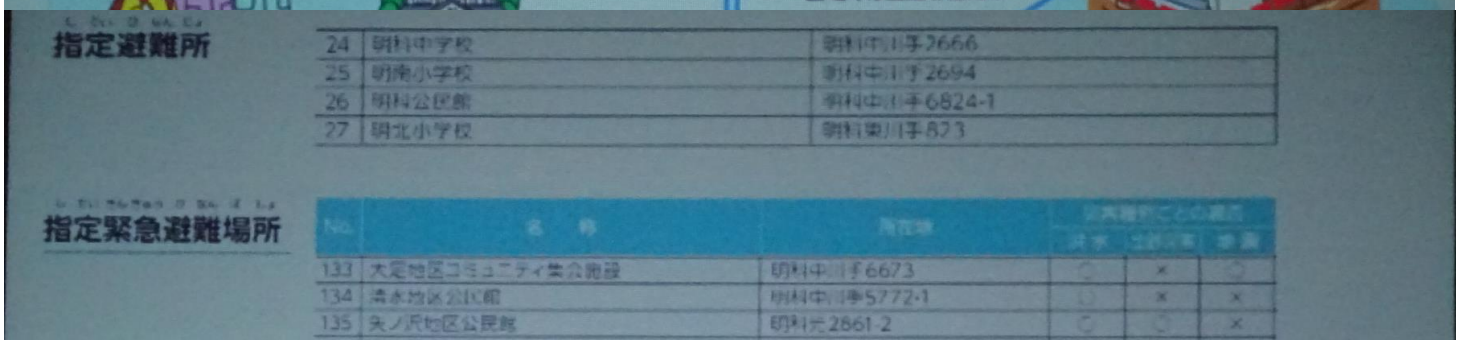
荻原区　洪水・土砂災害　緊急避難地図

安曇野市防災マップ 明科地域付近

新たな避難情報（令和3年5月20日改正）

警戒レベル		新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保※1（きんきゅうあんぜんかくほ）	災害発生情報（発生を確認したときに発令）
～～～＜警戒レベル４までに必ず避難！＞～～～			
4	災害のおそれ高い	避難指示※2（ひなんしじ）	・避難指示（緊急） ・避難勧告
3	災害のおそれあり	高齢者等避難※3（こうれいしゃとうひなん）	避難準備・高齢者等避難開始
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁）	早期注意情報（気象庁）





指定避難所

24	明科中学校	明科中川手2666
25	明南小学校	明科中川手2694
26	明科公民館	明科中川手6824-1
27	明北小学校	明科東川手873

指定緊急避難場所

No.	名称	所在地	災害種ごとの適否		
			洪水	土砂災害	津波
133	大足地区コミュニティ集会施設	明科中川手6673	○	×	○
134	清水地区公民館	明科中川手5772-1	○	×	×
135	矢ノ尻地区公民館	明科光2861-2	○	○	×

スリッパ作り方の指導うける

別紙　自主避難の準備（ワンカップの雨量計測方法）

（1）大雨の予報がある場合、住民はワンカップ等で雨量計測を開始する。
ワンカップの設置場所は、強風の雨が避られない平坦な場所に置きましょう！

（2）以下の状況になったら、自主避難の準備を始めて報告体制にしたがい報告する。

自主避難の準備を始める雨量の目安

時間雨量	20mm に達した場合・・・1時間で2cm の水がたまった場合
連続雨量	80mm に達した場合・・・降り始めから8cm の水がたまった場合

（3）自主防災会長及び区長は、その旨を区全域に周知するため、連絡体制にしたがい連絡し、自主避難の準備をはじめるよう、呼びかける。

（4）住民は、周辺の様子に注意するとともに、いつでも避難することが出来るように準備する。

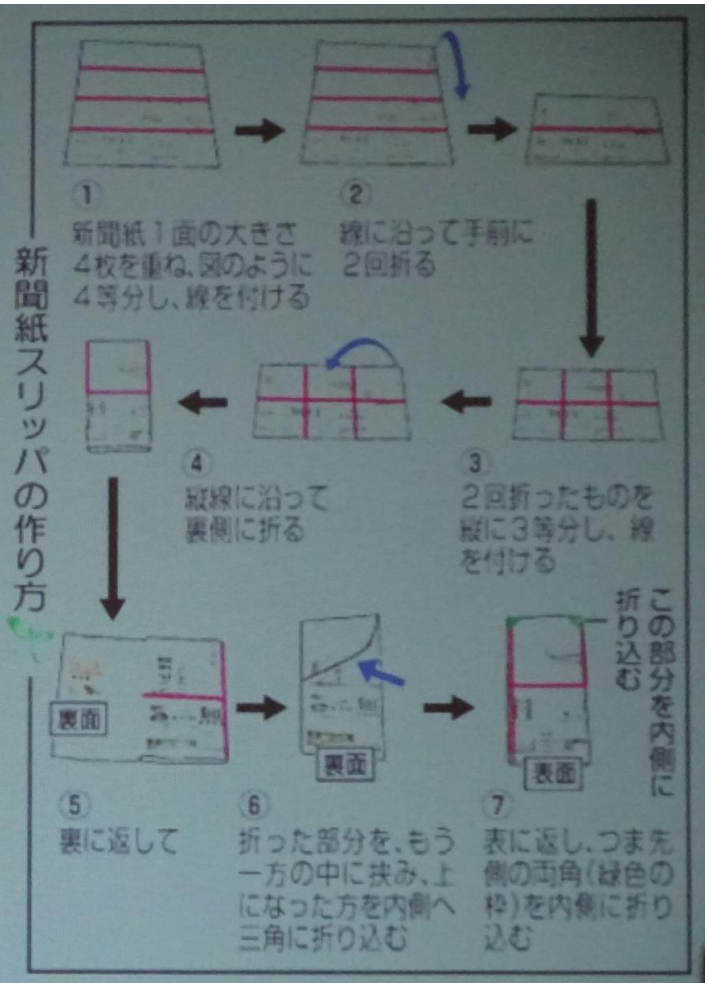
ワンカップ利用上雨量計測

※洪水・土砂災害は、雨が原因で発生する災害です。
雨が降り出したら、ワンカップ等を使って、各自で雨量を計測する習慣をつけましょう。

豪雨雨時には、特に土砂災害の発生に注意しましょう

土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。
次のような雨が降ったら、土砂災害が発生する危険性が高いので注意してください。

○1時間に 20mm 以上の雨
車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨

○連続雨量（24時間）で 100mm 以上の雨
弱い雨でも長時間降り続くと、土砂災害の危険性が高まります

新聞紙スリッパの作り方